

令和5年11月10日

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

自動運転技術の社会受容性向上のため大館市民等を対象に体験会を実施します

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則)は秋田県大館市を代表団体とする令和4年度地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用した実証事業に参画しています。この度、自動運転技術を広く理解いただき、社会受容性の醸成を促進することを目的として、大館市民の方々を対象にEVバス型自動運転車両の体験会等を実施いたします。

本実験は、EV (Electric Vehicle/電気自動車) 車両を用いて、運転者が操作の責任を持った上で、特定の条件下においてハンドルやアクセル、ブレーキなどの操作をシステムが自動で行う「自動運転レベル2」で、一般市民を試乗対象として大館市比内エリアの一般公道(約4km)を走行します。

当社は、今後も大館市において新モビリティの技術導入に向けた検証を進め、地域の規模や地域特性に応じた交通まちづくりを推進して参ります。

【実証実験の目的】

大館市比内地域の扇田地区は、商店、病院、公園、図書館、大館市役所総合支所などが立地し、コンパクトながらまとまりのある市街地を形成している地域です。現在、路線バスを中心とした地域公共交通が運用されていますが、ドライバーの担い手不足や、利用者の減少等の問題が顕在化しており地域公共交通を維持していく仕組みづくりが課題となっています。本実証実験は、大館市が抱える交通課題解決に向け、新モビリティの技術導入に向けた検証を進めていくための実験です。2019年に続いて今回で2度目となる本体験会では、地域の企業や団体等と協働して公道を走行することで課題を抽出するとともに、自動運転の仕組みや認知度を向上させ社会受容性を醸成することを目的としています。

【実証実験の概要】

期間：2023年11月20日(月)～11月30日(木)

※ 20日(月)は、開始セレモニーを開催

※ 21日(火)～30日(木)は、一般市民を対象とした一般公道走行

運行時刻：13時から30分間隔で計5便/日を運行

走行ルート：大館市比内総合支所から商店、図書館など市街地を周遊する約4kmのルート

詳細はこちらよりご確認ください。

<https://www.city.odate.lg.jp/city/soshiki/toshiseibi/p10620> (秋田県大館市ホームページ)

【実施体制について】

国土交通省自動車局 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用し、以下のコンソーシアムを組成し、共同して実施します。

代表団体：秋田県大館市

参加団体：株式会社オリエンタルコンサルタンツ、秋北バス株式会社

【(株)オリエンタルコンサルタンツの役割】

- ① 一般公道での実証計画策定、運営、評価・分析
- ② 社会受容性の醸成に向けたプログラムの計画立案、実施、評価・分析
(位置情報・走行状況提供、自動運転の仕組みや取り組みなどのパネル展示)
- ③ 実装に向けた計画立案 等

【実験車両】

タジマモーターコーポレーション製 GSM8(10名乗り)



【走行ルート】



＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・丸山・門司